

別紙

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称： 一般社団法人 しなの福祉教育総研	所在地： 長野県上田市真田町 6918 番地 1
評価実施期間：令和元年7月1日から令和元年12月20日 *契約日から評価結果の確定日(通常、評価結果報告会日)まで	
評価調査者(評価調査者養成研修修了者番号を記載)  050431 B18054 B18055	

### 2 福祉サービス事業者情報(令和元年9月現在)

事業所名： (施設名) 社会福祉法人 上田明照会 甘露保育園	種別： 認可保育所
代表者氏名： 会長 横内 浄真 (管理者氏名) 園長 神原 久美子	定員(利用人数)：90名(109名)
設置主体：社会福祉法人 上田明照会 経営主体：上に同じ	開設(指定)年月日： 大正15年5月 (昭和27年5月)
所在地：〒386-0012 長野県上田市中央5-9-29	
電話番号： 0268-22-7665	FAX番号： 0268-23-5083
ホームページアドレス <a href="http://ueda-meishoukai.or.jp/kanro.html">http://ueda-meishoukai.or.jp/kanro.html</a>	
職員数	常勤職員： 23名 非常勤：8名
	園長 1名 栄養士 1名 保育士 7名 主任保育士 1名 調理師 2名 事務員 1名 保育士 17名 医師(嘱託医師)(1名) 看護師 1名
施設・設備 の概要	(居室数) (設備等)
	乳児室 1室 遊戯室 1室 ほふく室 1室 便所 23室 保育室 6室 調理室 1室 野外遊戯場(園庭) 事務室 1室
保育時間	7:00~19:30(土曜日) 7:00~18:30

### 3 理念・基本方針

【法人の設立理念】 浄仏国土・成就衆生
【保育理念】 明るく(素直で明るく命を大切にすることも) 正しく(よく考え力いっぱい最後までやりとげることも) 仲よく(元気で生き生きと仲よく遊べることも)

### 【基本方針】

1. 保育理念に基づき、豊かなこころの育ちと健やかな発達を保障する。
2. 自発的、意欲的にかかわれるような環境を用意し、こどもの主体的活動を身につけた、調和のとれたこどもを育てる。
3. 蓮の音こども園と協働し発達支援、根拠に基づく保育をする。

### 【保育目標】

1. 一人ひとりの成長・発達が守られ、乳幼児期に相応しい生活体験を積み重ねる。
2. 親が安心して子どもを預け働ける環境を整えるとともに「家庭と園が共に子どもを育てる」協働関係の構築に努める。
3. 食を大切にし、命のつながり、命の大切さを保育の場面を通じて伝える。
4. 地域社会との交流や連携を深める。

## 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

経営母体である上田明照会の基本理念『浄仏国土・成就衆生』は、「円満な人格の形成（成就衆生）は社会環境の浄化（浄仏国土）にある」とし「社会環境の浄化は児童の健全育成に始まる」との考えから大正から昭和にかけて先駆的な社会奉仕事業を展開してきました。

大正時代に「日曜学校」として設立以来、託児所「甘露園」から「甘露保育園」に名称変更しながら併設される「蓮の音こども園」とともに地域に根差した子どもの健全な育成事業を展開しています。

設立理念に基づき、保育園では子どもの主体性を尊重する保育の充実や家庭支援、食育や地域のかかわりに重点を置いて保育をしています。

また併設する蓮の音こども園においては個の発達に応じた支援を行い、当園のこどもと共に育ちあう保育を基本に日常生活の中から関係性の構築や学びの展開を図っています。保育所訪問支援事業も開始し、「相談支援センターほっと」では障がい児相談支援、計画相談支援を行っています。

保育サービスでは病児・病後児保育、子育て支援、延長保育、地域活動事業も行っています。

当園の事業展開は上田市における子育て支援の原点であり、あくまでも子どもを主体としながらきめ細かな保護者支援となっています。またその支援内容は行政と連携したうえでなお、法人ならではの理念のもと、時に行政の隙間を埋めるような工夫や独自性が伺われます。

## 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	初 回
---------------	-----

## 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

### ◇特に良いと思う点

#### 【新園舎で子どもたちがのびのびと生活や遊びを展開しています】

平成29年に園舎の全面改築が完成しました。新園舎には園長はじめ職員の保育への思いやアイデアが各所に生かされ子どもにとって大変快適で過ごしやすい保育園です。

- ・園舎内外いたるところに子どもにとってワクワクするスペースがあります。
- ・絵本コーナーは子どもが絵本を選んだり親子で楽しんだり、ゆっくりと過ごせる場です。
- ・クールダウンのスペース（“デン”など）があり配慮が必要な子どもはもちろん、どの子にとっても心を落ち着かせられる落ち着いた場となっています。
- ・日当たりのよい広い廊下、十分な広さの保育室、グッドデザイン賞に輝いた階段手摺から展開される2階や屋上へのアプローチなど過ごしやすく楽しい空間が確保されています。
- ・未満児のオムツ処理などは個別ケースを設け冷凍で管理するなど、衛生面に十分配慮した画期的な工夫がありました。
- ・門扉や玄関扉は厳重に管理され外部侵入者の阻止や子どもの飛び出しなど安全面での対策がしっかりとされています。

## 【子どもの主体性を大切にした保育をしています】

園では『育って欲しい10の姿』を明確にあげて「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5領域に沿い、子ども一人ひとりが持っている力を存分に発揮し、やりたいことが存分にできる環境を用意して保育をしています。活動の一環として体育遊びや音楽あそび、英語、散歩なども取り入れたたくさんの経験をして遊びこめる子どもを育て、生きる力を育てています。

楽しい経験の中にはお花まつりやたままつり、成道会、ねはん会など当園ならではの行事もあります。

併設されている蓮の音こども園との連携が意図的に行われ、交流事業や遊び、生活を共にする中で互いを大切に思い共に育ちあう保育が行われていました。

## 【職員の資質向上が図られています】

○職員の自己評価を定期的実施しています。

○自己評価を基に職員が自身の課題を明らかにしながら連携し子どもたちの生きる力を育むための保育を実践しています。

○職員には看護師や栄養士がおり、急な発熱、病児・病後児も安心して過ごしたり、園独自の栄養管理、調理の工夫を凝らした給食が提供されたり、健康相談や食育相談にも応じるなど子どもにとっても保護者にとっても支援が行き届いています。

特に当園では食育に力を入れ「食べることは生きること」として毎日の給食が食育であると考えていました。管理栄養士を中心に園内で職員や保護者を対象にした研修会を開催し食への関心を高めるための取り組みが行われています。食から育つ言語（発語）にも着目し言語聴覚士にアドバイスを仰ぎながら食材の切り方、硬さ、噛み切る力を育てる大きさや形など、食を通して咀嚼力の練習にもなるよう工夫しています。

「衛生安全管理」では、看護師が中心となり専門的観点から子どもの健康状況の把握や保育中のケガへの対応から危険個所の確認や SIDS に関する情報提供など子どもが安心して過ごせるための取り組みがみられました。

○クラスの状況や子どもの様子などを保育士、看護師、栄養士が参加する職員会で情報交換しています。障害を持つ子どもや配慮の必要な子どもの支援、保護者との連携など法人が主催する職員研修も充実しており専門性を生かした様々な取り組みが行われ園目標の実現につながっています。

○園長は園内研修や職員会で園の理念について説明したり保育への思いを職員に伝えたりしながら職員を指導しています。日々の保育を見守るなかで必要な時は声がけをしたり個別面談を行ったりして、職員が安心して保育をし全職員で目標に向かって取り組む組織作りを大切にしています。

○園長は保育士一人ひとりが『この園で働けて幸せ』と思えるよう、温かいまなざしで保育士を育てています。その結果当園での保育士離職率は大変少なく、保育士の資質向上につながっています。

## ◇特に改善する必要があると思う点

組織としての「期待する職員像」をより明確にし、正規や臨時職員一人ひとりの職員が自己評価を生かしてより高い理想を掲げながら保育にあたれることが期待されます。

## 7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価・・・（別添 1）
- ・ 内容評価・・・（別添 2）

## 8 利用者調査の結果

- ・ 別紙添付  
アンケート方式（別添 3-1）

## 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）